

学習内容報告書 フォーマット

学校名	唐津市立東唐津小学校
授業者	岩部裕之

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

発信！唐津の海と虹の松原

1-2. 学年

6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、国語、理科

1-4. 単元の概要

児童は、前学年までの生活科、社会科、総合的な学習の時間での学習や、海・海大好き集会（地引網体験活動）浜ランラン持久走大会、東の浜清掃活動などの行事、地域の中での生活経験から、海に対して親しみを持っている。しかし、海についてまだ知らないことが多いことに気づいた児童は、海の環境についてさらに興味・関心を持ちもっと調べてみたいと意欲を持った。

そこで、これまでに学習した課題を整理し、他者に伝えたいことを整理しどうやって伝えるかを決め、自身の学習の課題を明確にした。本やインターネットで調べたり、話し合ったりしながら、考えを深めていった。そして研究の成果をまとめ、海洋教育パイオニアスクールで発表することをゴールとする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海と深くかかわってきた東唐津小学校の校区の、地域素材・人材を活用して、総合的な学習の時間と各教科を関連付けたカリキュラム・マネジメントと授業実践を行えば、児童が自分自身の生活する身近な地域のもの・こと・人のつながりを通して、社会と主体的に関わり、創造していこうとする基盤を育てるとともに、地域の誇りを思い、大切にしようとする意識を高めることができるであろう。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

(1) 身近な環境の中から、調べたいことを見つけたり、追求したい課題を設定したりする力。

【知識・技能】

(2) 調べ学習を通して得た情報から、海の環境を生かしたり改善したりしながら海にかかわる人々の生き方に魅力を感じ、それを他者に伝える方法を考える力。

【思考力・判断力・表現力】

(3) 身近な海の環境に関心を持ち、進んで学習に取り組み積極的に発信しようとする力。

【学びに向かう力】

1-7. 単元の展開（全40時間）

時 数	学習活動・主な内容	・教師の指導 / 主な評価 ○外部連携 / 使用教材等
3	・学習計画を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習や体験を振り返りながら、東の浜や海についてまだ知らないことがたくさんあることに気づかせる。 ・疑問や知りたいことを出し合い、学習計画を考えさせる。調べたいことや、専門家に聞きたいことを整理させる。
10	・「私たちにできること」	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内のごみや給食の問題、資源や環境について考えるようにさせる。 ・インターネットを使ってSDGsに関連する内容を調べる。 ・各グループで広用紙にまとめ発表させる。
4	・離岸流を学ぼう。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地実験の前にインターネットで離岸流について学習させる。 ○海上保安庁・唐津消防本部による現地実験を観察する。
2	・海の専門家から学ぼう。	○東京大学海洋教育センターの及川先生と高倉先生から、私たちがどれだけ海から恩恵をもらっているのかお話ししていただく。
3	・海のことをもっと知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・海、海集会・清掃活動を行わせる。 ○地元網本さんの協力のもと地引網体験を行う。
3	・マイクロプラスチックについて学ぼう。	○プレシャスプラスチック唐津の方々にマイクロプラスチックについての講話と観察、ペットボトルキャップの再生体験をしていただく。
5	・「マイクロプラスチックについて調べよう」	・インターネットでプラスチックについて調べ、広用紙にまとめ発表させる。
10	・海洋教育パイオニアスクールで発表しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをパワーポイントにまとめ、海洋教育パイオニアスクールでのZOOM発表の準備をさせ、発表させる。 ○海洋教育パイオニアスクール参加学校・専門の先生方とオンラインで交流する。 ・学習の振り返りをさせる。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

・身の回りにおける問題点や解決方法などについて、具体的な事実や考えを出し合って話し合うことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="248 860 1206 954" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">提案するテーマの現状と問題点を確認、その解決方法を考えよう</div> <p>2 提案するテーマについての現状と問題点を明確にし、解決方法を考える。</p> <p>3 それぞれの考えを持ち寄って、話し合い、提案内容を決める。</p> <p>4 学習を振り返る</p>	<p>・前時に集めた資料を基に、身近な問題として、現状がどうであるかを考える。</p> <p>・まず自分の考えを持たせるため、個別学習で進める。</p> <p>・前時に調べきれなかったことは、継続して調べさせる。</p> <p>・「考えを広げる話し合い」・「考えをまとめる話し合い」を使い分けたり、意見を分類・整理したりさせながら考えをまとめさせる。</p> <p>・各自が考えた問題点と解決方法を共有して、提案内容を考えさせる。</p> <div data-bbox="826 1603 1469 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>【思考力・判断力・表現力】</p><p>目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている</p></div> <p>・提案文章に書く内容を、どのようにして考えたか、どんな点がよかったかを振り返らせる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・コロナ対応をしながらの実践になったが、多くの外部の方と関わることができ、体験活動を通して、唐津の海の豊かさを改めて感じる事ができた。
- ・プレシャスプラスチック唐津の皆さんと交流できたことで、マイクロプラスチックが身近な海でも見られること、ペットボトルキャップの再生活動について知ることができた。
- ・海洋教育パイオニアスクールの発表では ZOOM を使い、オンラインで県外の学校や専門の先生方と交流を持つことができた。

4. 今後の課題

- ・コロナ対応をしながらの実践になると予想される。時期や内容の変更も考えられるが調べ学習や体験活動を通しての単元づくりをしていきたい。
- ・SDG s の内容を踏まえての取り組みが必要になってくるので、新しい学習内容や活動を考えていきたい。
- ・プレシャスプラスチック唐津の方々との交流を今後も続けていき、ペットボトルキャップの再生活動では、東唐津小学校独自の作品を作っていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。